

平成 15 年 3 月期第 3 四半期の業績等の概況（連結）

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
 上場取引所(所属部) 大阪証券取引所・市場第二部
 (コード番号 7608)
 本社所在地 大阪府中央区上町一丁目3番10号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
 氏 名 川上 優
 T E L (06) 6765-0670

1. 業績 (千円未満切捨て)

(1)平成 15 年 3 月期第 3 四半期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日)の業績

	14 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	15 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	参考 前期(通期)
売上高	千円 4,882,913	千円 6,123,413	% 25.4	千円 6,393,359
営業利益	373,405	477,029	27.8	452,043
経常利益	364,503	466,097	27.9	425,075

(2)販売の状況

業態別売上高

(単位:千円、%)

			14 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		15 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
			売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ユ ー ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	440,304	9.0	346,758	5.6	588,153	9.2
		量販店系	266,714	5.5	317,750	5.2	364,794	5.7
		ショッピングセンター系	459,854	9.4	591,449	9.6	604,366	9.5
		路面店	2,411,817	49.4	3,384,670	55.3	3,149,341	49.2
		遊園地等	90,263	1.8	71,591	1.2	104,821	1.6
	ディスプレイター	401,309	8.2	342,937	5.6	497,345	7.8	
	S P 部門	82,154	1.7	133,297	2.2	105,245	1.7	
小 計			4,152,419	85.0	5,188,455	84.7	5,414,068	84.7
物 販	問 屋		95,313	2.0	132,871	2.2	129,219	2.0
	小売店		635,180	13.0	795,226	13.0	850,071	13.3
小 計			730,494	15.0	928,098	15.2	979,290	15.3
そ の 他					6,860	0.1		
合 計			4,882,913	100.0	6,123,413	100.0	6,393,359	100.0

(注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2. 量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。

3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことであります。
4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことであります。
5. SPとは、セールスプロモーションの略称であり、SP部門は企業プレミアム商品の企画・販売を担当する部署のことであります。
6. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	14年3月期第3四半期 (前年同四半期)		15年3月期第3四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	95,206	1.9	101,164	1.7	113,633	1.8
キャラクター商品	969,912	19.9	1,194,693	19.5	1,212,775	19.0
仕入商品	3,817,794	78.2	4,827,555	78.8	5,066,950	79.2
合計	4,882,913	100.0	6,123,413	100.0	6,393,359	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	15年3月期第3四半期	増減額	前期末
(資産)	千円	千円	千円
受取手形及び売掛金	1,838,148	746,723	1,091,424
棚卸資産	346,143	227,076	119,067
繰延税金資産(流動)	44,858	17,723	27,135
(負債)			
買掛金	1,356,972	761,458	595,513
短期借入金	486,187	207,839	278,348
未払法人税等	107,069	40,570	147,639
退職給付引当金	56,950	10,737	46,212

(注) 当四半期および前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 業績の概況

(1) 当四半期の状況

当四半期の売上高は、アミューズメント業界向け販売事業・物販業界向け販売事業ともに好調であり、6,123百万円（前年同期比 25.4%増）、経常利益 466 百万円（前年同期比 27.9%増）と増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

〔アミューズメント業界向け販売事業〕

当四半期におけるアミューズメント業界向け販売事業は、チェーン展開している取引先への営業を強化しましたが、その中でも路面店・ショッピングセンター系オペレーターへの売上高が好調で、それぞれ前年同期比 40.3%・28.6%増となりました。また商品面では、オリジナル商品の売上高が前年同期比 16.5%増となり、特に「サンリオ」「頭文字（イニシャル）D」の商品がよく売れ、当四半期好調の要因となりました。

S P部門は、パチンコメーカー、お菓子メーカー、テーマパーク等に別注商品が決まり、売上高は 133 百万円（前年同期比 62.3%増）と増収となりました。

以上の結果により、売上高 5,188 百万円（前年同期比 25.0%増）と増収となりました。

〔物販業界向け販売事業〕

当四半期における物販業界向け販売事業は、商品面では主力である携帯電話関連グッズが 241 百万円（前年同期比 15.8%減）と低調に推移しておりますが、キーホルダー類とバラエティー雑貨（ぬいぐるみ・ホーム雑貨等）に新規の商材を投入し、品揃えの拡充と販売強化を図った結果、キーホルダー類は 245 百万円（前年同期比 35.8%増）となり、特にバラエティー雑貨は 425 百万円（前年同期比 68.7%増）と前年を大きく上回ることができました。

また、販売面ではチェーン店との取引の拡大、新規の得意先の開拓による売上の増加があり、全体の売上高は 928 百万円（前年同期比 27.1%増）と増収となりました。

3. 当期の見通し

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	7,700 百万円	470 百万円	254 百万円	57 円 03 銭

4. その他

該当事項はありません。